

変動の激しい現代の社会情勢下における家庭管理、教育の価値判断や効果は、経済的、社会的、諸種の公害等と背景にして、それが分析と展開にある。他の分野ではコンピューターは飛躍的の活躍をして、多くの貴重な情報を提供している、しかし家政学の分野にはその研究、データは余り見当がなないことが痛感される。

そこで本研究では、家庭生活上の重要なモメントとして青少年期の健康、食生活問題ととり上げ、コンピューターにより分析、背景のフンディメントを的確につかみ、アプローチした。

調査内容は、①健康度調査、②栄養診断 ③血圧測定 ④心電図測定、⑤ 体温温度(*Thema spot remer* 使用) ⑥基礎体力 等を実施した。

実施方法は、純真女子短大に設置されているコンピューター装置を使用、コンピューターによるソフトによるこの情報整理には相当期間色々と努力を要したが、その基礎作りの上で、テスト期間は毎年3月20日より/週間、その後10日間隔で3回反復調査した。対象者は、東和大学男子30名、純真女子短大30名と抽出、又併せて一般家庭への応用測定も実施した。

以上のデータにより、列表のごとく家庭生活での青少年期の健康管理、食生活診断が急速に分析され、科学的な家庭管理への指導資料と得ることができた。

今日の家庭管理のあり方も、コンピューターを駆使するこにより、より適格なセクシーと実践が可能になり、総合的な家庭管理が確立される。